

わたしは なぜ 草の根運動に入ったのでしょうか

なにが草の根運動に、入るきっかけになったのか？と聞かれた時に、私としては幼少の頃から、一風変わったところがあったと、聞いています。同じ幼少の子が、楽しんで興味を示すことにはつまらなくて人が、興味がないものに、自分がこれだと思ったものに真っしぐら、地道に遊んでいる子供だったそうです。

大人になってもまだ何も変わってない戦争のことや、幼少の頃から色々なことを言って、どんな戦争があったのか？と、知りたがるという、そんな子供時代でした。学校の社会科や、歴史の本でまず最初にページをめくるのが沖縄戦でのことがどのくらい載っていて勉強ができるか、と言うことが知りたくて仕方ありませんでした。

私が本当の戦争を知りたかった事と、何故こんなに、米軍の事故が多いのに、何も報道されないのか？と、とても思いました。どんなに大会を開いても、みんなの熱い思いが集まっても、何一つ変わらないと思いました。小さな子供達が、母親に手を引かれて、大会会場へ行く姿や、腰の曲がったおばあちゃんが、一生懸命に頑張っている姿を見ると、多くの御霊が安らかな気持ちになれる日を、あの日見た戦争のことや、口に出すこともできない程の思いがふとした時に溢れる涙がありました。色々な思いが、心の中に沖縄で暮らしていて、毎日が楽しく過ぎて行くようでもありますが、何にも変わらないものが、心の中にありました。

インターネットで、沖縄戦の事をみんなで力を合わせて頑張っている所は無いかと調べてみた所に、色々な思いが集まっている、団体があるのを知りました。その中で、読んで行くと言うよりも先に自分のやりたかったことがあったのが、「草の根」のホームページでした。何度も繰り返して読んでいるとこれが私が一番知りたかった事と言う思いが強くなってき



て、心に溜め込んでいた思いを、この草の根運動に、入り、勉強して行って見たいと思ったことなどが、入会を決めるきっかけになったと思います。歴史の本でも買ってみましたがやはり、行動しなければ、自分から動いていかないと何にも変わらないと思いました。少しばかりの勇気がいりましたが、草の根運動に入り、行動をして行くことができたときは必ず、大きなうねりとなり願いが届いて世界にも届くと信じて行動をすることが出来ました。平山さんと、直接電話したらびっくりされてしまいました。思いもしなかった平山さんの沖縄のチムクグルが、もしかしたら言葉に伝わってきて、みんな同じ方向を向いていると思いました。まだまだ、教えて欲しいことが沢山ありましたが、毎月の草の根ニュースに目を通しながら安心した生活を送って行きたいと思いました。しかし頼るだけでは無く、団結して大きな力になることをこの草の根運動に入り初めて知ることが出来ました。まだまだこれから暑い夏が、来ますが、平山さんをお願いされたレポートを提出して、ありのままの気持ちと草の根運動にたどりつきたいきさつを終わらせて頂きます。

失礼が色々あるかも知れませんが、戦争ほど憎らしいものは何一つありません。そして何一つ解決しないままの、汚い大きな問題を残して行ってしまいます。一生終わらない戦争の傷跡を残してしまうのは許せるものではないということです。(2014年4月28日)

